

●中学校区の検討

小学校区の通学区域候補案に基づき、中学校区の推計値を算出しました。

□案【小杉町2丁目・小杉町3丁目】

学校		H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
中原中	生徒数	377	392	429	448	459	472	472
	学級数	11	11	12	12	12	12	12
今井中	生徒数	397	391	386	370	373	344	340
	学級数	12	12	12	11	11	10	10

□案の一部修正案【小杉町2丁目・エクスタワー・プラウドタワー・小杉町3丁目東地区計画】

学校		H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
中原中	生徒数	366	379	416	433	446	457	457
	学級数	11	11	12	12	12	12	12
今井中	生徒数	408	404	399	385	386	359	355
	学級数	12	12	12	12	12	11	10

※中学校区を変更しない場合

学校		H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
中原中	生徒数	354	363	395	408	416	421	414
	学級数	11	11	12	12	12	12	12
今井中	生徒数	420	420	420	410	416	395	398
	学級数	12	12	12	12	12	11	11

※平成35年度以降の生徒数・学級数については近隣地域の実績を基に参考値として示しています。

●会議での主なご意見等（●：各委員会からの発言 →：事務局説明）

- 小杉町2・3丁目通学区域として指定された場合、高学年の児童も新設校に通うことになるのか。
→原則、通学することになるが、特例措置について導入の方向で検討を進める。
- 当初の新設校は高学年の児童が少ない学校になるのではないか。
→他都市の新設校にヒアリングしたところ、高学年の児童が責任感をもって下級生を支えまとまりのある行動が見られ、保護者や地域の協力を得ながら円滑な学校運営ができたところのご意見をいただいている。
- これまでの意見等をふまえて、教育委員会が通学区域案をまとめてほしい。
→本日いただいたご意見を整理し、次回の通学区域等検討会議で通学区域案を提示する。

●今後の予定

今月末頃に第4回通学区域等検討会議を開催し、通学区域等の最終案をまとめます。なお、通学区域等の決定は、今年度秋頃を予定しています。

お問い合わせ先

川崎市教育委員会事務局 教育環境整備推進室 学校整備プロジェクト推進担当

ご意見やご質問については、Eメール又はFAXにてお願いいたします。

〒210-0004 川崎市川崎区宮本町6

電話：044(200)3319 FAX：044(200)3679 Eメール：88seibi@city.kawasaki.jp

会議での資料、候補案の地図等を含め、新設校に関する内容についてはホームページからもご覧いただけます。

<http://www.city.kawasaki.jp/880/page/0000080750.html>

小杉駅周辺地区新設小学校ニュース

第3号（平成29年5月）

本市では、小杉駅周辺地域の小学校の児童数増加への対応と良好な教育環境を確保するため、平成31年4月に新しい小学校（以下「新設校」という。）の設置を計画しています。このニュースでは、新設校に関する情報を発信してまいります。

①校舎建設工事が始まります。

開校に向けて、校舎の建設工事が始まります。校舎完成は平成30年12月の予定です。工事期間中は、ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いします。

②第3回通学区域等検討会議を開催しました。

3月27日(月)に第3回通学区域等検討会議を開催しました。会議では前回会議以降からの御意見をふまえ、学校名候補案及び通学区域の素案をまとめました。また、今回は新たに中学校区の候補案について提案しました。

●学校名案

①「小杉小学校」

理由：小杉町2丁目という地名を基に、小杉地区に設置される小学校とした名前

②「こすぎ小学校」

理由：①の理由に加え、平仮名にすることで児童に親しみやすい名前

今後の進め方

検討会議での御意見を基に、教育委員会事務局で比較検討し最終案をまとめます。

●通学区域案

対象小学校毎の方向性

西丸子小学校：新設小学校予定地の通学区域校という状況や保護者要望を十分に踏まえ、学校予定地の小杉町2丁目地域のみを新設小学校通学区域とします。

※対象地域の西丸子小学校在校生への特例措置については導入の方向で検討を進めます。

上丸子小学校：児童増加対策として平成26年度に校舎改築整備を完了している状況や今後の児童数の長期推計を踏まえた結果、児童増加への対応が可能と判断し、現行どおりとします。

今井小学校：今後の児童増加による学校の過大規模化を解消することは重要であり、新設小学校の設置により学校の適正規模化を図ることが良好な教育環境の確保に資することから、小杉町3丁目地域を新設小学校通学区域とします。ただし、大規模集合住宅単位か地域全体とするかは検討事項とします。

※対象地域の今井小学校在校生への特例措置についても検討する。

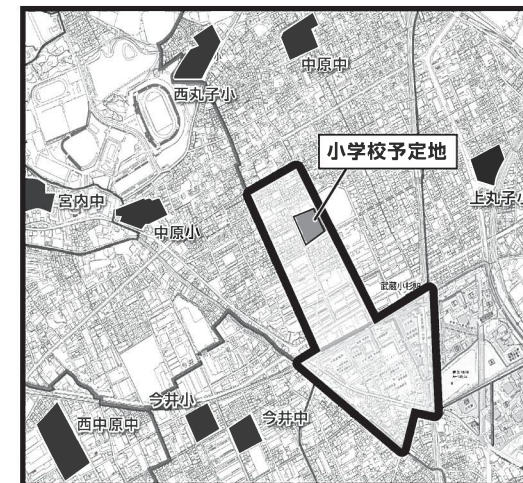
中原小学校：将来的な教室不足が課題となっていますが、今後の児童数の長期推計や保護者要望等を十分に踏まえ、教室転用による児童増加への対応が可能と判断し、現行どおりとします。

※これに伴い、宮内中学校の通学区域も現行どおりとします。

●方向性に基づく候補案の整理

対象小学校の方向性に基づく候補案を検証し、下記の2つの候補案にまとめました。

①D案 【小杉町2丁目・ 小杉町3丁目】



②G案の一部修正案 【小杉町2丁目・ エクスタワー・ ブラウドタワー・ 小杉町3丁目東 地区計画】

